

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	下関市家庭教育支援チーム (呼称: ふくふくこころサポート)
活動開始年度	平成29年度(2017年度)
活動拠点	勝山公民館
活動範囲	下関市内全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援基盤構築事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業( ) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名 ) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	<u>12</u> 人 心理カウンセラー9人、看護師1人 家庭教育アドバイザー講座修了者1人、一般市民1人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  <b>【活動の内容】</b> ・子育て講座、子育て相談 毎月1回、公民館において子育て講座を実施している。内容は母親の体験活動や育児相談など。お子様連れで参加する母親が多く、母親同士の交流や親子のふれあいの場にもなっている。また、会の終わりには全体交流の時間をもち、参加者同士の情報交換や感想交流を行っている。 ・家庭教育学級 市内の幼稚園、こども園、小学校の保護者を対象に、子育て講座を実施している。主に参観日や就学時健康診断等で、新入児や低学年の保護者を対象に行っている。
活動の成果	子どもの就学に対する不安を減らすことができただけでなく、日ごろの子育ての相談などもできてよかったとの意見が、講座アンケートに多く寄せられた。 ワークショップでは、参加者同士の意見交換を通して、参加者同士の横のつながりも少しずつ広がっていったという意見があった。

<p><b>活動において苦勞した点や課題</b></p>	<p>支援員と参加者の関わりは活発化しているが、参加者同士の横のつながりを広げていくことには時間がかかる。</p> <p>講座として依頼があった学校を中心に子育て支援活動を行っているが、そのことが特定の学校だけへの訪問につながっている。今後は支援活動の範囲を広げて、より多くの学校を訪問できるようにしたい。</p>
<p><b>今後の活動目標</b></p>	<p>家庭教育支援活動についての認知度を高めて、利用者を増やすだけでなく、リピーター利用者も増やしていきたい。そのためにも、参加者への事後フォローを充実させることを考えていきたい。</p> <p>子育て講座は、乳幼児の母親を対象として、公民館での定期活動を展開しているが、今後はできることを見極めた上で、訪問型の活動も必要に応じて取り入れていきたい。</p>
<p><b>問合せ先</b></p>	<p>(部署・氏名等) 下関市教育委員会教育部 生涯学習課</p> <p>(TEL) 083-231-7968</p> <p>(E-mail) izuchi.takashi@city.shimonoseki.yamaguchi.jp</p>